

平成 29 年度公益財団法人西郷南洲顕彰会事業計画

西郷南洲顕彰館の指定管理者制度 3 期 2 年目となる本年度は、引き続き入館者増につながるような取り組みを心がけ、より一層来館者サービスの向上と効率的な管理運営に努める。

また、西郷南洲翁を中心とする明治維新先覚者の偉業遺徳を顕彰するとともに、その事績及び精神的遺産を後世に継承するための研究調査並びに一般への啓発活動を行いながら、青少年の教育と健全な育成に寄与するという設立目的を基に事業を展開する。

事業内容

1. 公益目的事業

(1) 受託事業

鹿児島市から管理受託する西郷南洲顕彰館の管理運営及び南洲公園駐車場の鍵開閉業務

① 企画展の開催

特別企画展「南洲翁と幕末の志士達」展（仮題）と収蔵品展を開催する。企画展の講演会を開催する。

② 展示の充実

常設展示スペースを活用した展示を心がけ、「明治維新 150 年カウントダウン事業」及び平成 30 年大河ドラマ「西郷どん」に関連する展示も行う。

③ 入館者増加の対策強化

入館者増に向けて各所に働きかけを行う。講座を開催する。館内案内や講話の要請に対応する。

③ 講座・講演の開催

歴史講座や文化講座、講演会を開催する。

⑤ 南洲公園駐車場鍵開閉

(2) 自主事業

① 資料収集とデータベースの構築

西郷隆盛ならびに関連資料の収集と充実をはかり、展示公開する。過年度に引き続きデータベースを構築する。

② 講座・教室の開催

南洲遺訓学習会（年 10 回）・・・開催月の第 4 土曜日午後 2 時～同 4 時。

夏休み親子歴史教室（2 回）・・・親子で南洲翁について学んでもらう

④ 西郷どんの遠行（南洲翁の史跡めぐり）

9 月 23 日（土）秋分の日に関係団体と協力して実施する。完歩者には記念品を贈呈する。

また、参加児童及び生徒から作文を募集し作文コンクールを実施する。優秀者には賞状を贈呈する。

⑤ 機関誌「敬天愛人第 35 号」の発行

9月24日（日）発行。発行部数 2,000 部。国立国会図書館・都道府県立図書館・鹿児島県内の小中学校・高校・短大・大学・公立図書館・教育機関及び賛助会員に頒布する。編集委員会を2回開く。

⑤シニアガイドの活動

連休の配置以外に、要望があれば随時来館者のガイドにあたる。南洲墓地・南洲神社のみのガイド要請にも対応する。西郷どんの遠行では各ポイントで解説をする。また、年数回勉強会を実施し知識向上及びガイド同士の意見交換の場を持つ。

⑥ 西南の役を偲ぶ旅

10月下旬。遺訓学習会や各種講座、HP等で参加者を募集する。

⑦学習支援事業

体験型修学旅行のための「郷中教育プログラム」、社会科学習の支援を行うために内容を見直し、学習支援を行う。

2. 収益事業

①書籍及び関連グッズの販売

②遺墨の鑑定

上記事業を行うとともに、南洲翁や西南戦争関係の来館及び電話・手紙等でのレファレンスや相談に真摯に対応する。また、減少傾向にある賛助会員の増加に取り組む。